



# 六郷中だより

六郷中学校だより 第14号  
令和 4年 1月14日  
発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



## より一層の感染防止対策を！

前回の六郷中だより（12/7発行）では、「新型コロナウイルスの感染者数が予想以上に減少したため桜樹祭の最後を飾る花火を3ヶ月遅れで実施することができました」と、紹介させていただきました。

しかし、3学期を迎えた1月になると、山梨県においても感染状況が増加傾向に急展開し、すでに1月の感染者は昨日の1/13までに累計296人となりました。特にここ3日間の新規感染者は連日倍増するなど急増し、1月11日には23人、12日には46人、13日には87人と増加の一途をたどっています。さらには、本日1/14には、日中にもかかわらず、昨年8月20日に確認された過去最多の103人を上回ると山梨県より暫定的な発表が先ほどなされました。数々の報道においても、すでに新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」への感染の置き換わりが進み、『大部分の都道府県で、オミクロン株の市中感染が拡大している』と発表されるようになりました。

そこで、3月までの残り2ヶ月半の3学期の教育活動が安心・安全な中で進められますよう、さらには、3年生が安心して高校入試や卒業式を迎え、1、2年生においては1年間のまとめや来年度の進級に向けての準備が十分にできますよう、「3密の回避」「マスクの着用」「手洗い」「教室の常時換気」等の感染防止対策を引き続き徹底していきたいと考えております。

保護者の皆様におかれましては、長きにわたり感染防止対策へのご協力とご理解をいただくことで、本校においての感染者やクラスターが発生することはありませんでした。しかし、感染の中心が新変異株のオミクロン株へと置き換わった今、以下のような、より一層の感染防止対策の徹底を改めてお願いしたいと存じます。ご理解とご協力をお願いいたします。

### <オミクロン株について>（厚生労働省の見解）

- ・感染力が従来のもものよりも高い可能性がある。
- ・重篤度については十分な疫学情報がなく不明である。
- ・再感染やワクチン効果（従来株比）について、再感染リスク増加の可能性があり、また、ワクチン効果を弱める可能性がある。

### <ご家庭への具体的対応のお願い>

- ・従来のご家庭での感染防止対策を引き続き実施していただき、ぜひ徹底してください。
  - 毎朝の「保護者による健康チェックの確認」と「健康チェック表の登校時の学校への提出」  
※ここがおろそかになると、感染が拡大する可能性が大きくなります。
  - 発熱がある場合、また発熱が無い場合であっても、のどの痛みや咳など、少しでも体調がすぐれない場合は、大事をとって登校せずに、できる限り早く医療機関に受診してください。  
※このような場合は出席停止となり欠席にはなりません。ご理解とご協力をお願いします。